

日本情報考古学会会報

NEWSLETTER OF THE JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION No.39 March 2017

目次

日本情報考古学会第37回大会 in Ibaraki の記録	1
日本情報考古学会第37回大会プログラム（記録）	2
2016年度日本情報考古学会総会報告	2
2016年度第1回理事会議事録	3
名誉会員について	4
2016年度日本情報考古学会賞	4
会員名簿の配布	4
第38回大会の開催について	4

日本情報考古学会第37回大会 in Ibaraki の記録

2016年10月8日（土）・9日（日）の両日、日本情報考古学会第37回大会を土浦市立博物館で開催しました。茨城県では初めての開催でした。あいにくの雨模様にもかかわらず、遠方からも会員内外の参加がありました。

1日目は植木会長の挨拶で始まり、2セッション9件の一般講演がありました。特別講演は同博物館の館長で茨城大学名誉教授の茂木雅博先生による「日本の箱式石棺」。先生のライフワークの一つともいえるテーマで、参加者は興味深く聞き入っていました。夕刻からの懇親会も楽しく行いました。

2日目は2セッション午前中5件、午後6件、計11件の一般講演が行われました。また、昼には総会に続いて学会賞授賞式が行われました。今年度は日本情報考古学会論文賞1件、日本情報考古学会堅田賞（優秀賞）1件でした。

今大会は大学院生ら若手研究者の発表が多く、留学生の発表も3件ありました。最年少は岡山大学の学部生でした。分野や世代にかかわらず研究発表の場として、また相互交流の場として活用されることは、喜ばしいことです。本学会のさらなる発展にむけて、今後



特別講演。茂木雅博先生。



一般講演。会場の様子。



学会賞授賞式



一般講演

も会員のいっそうのご協力と積極的なご参加をお願いいたします。

今回の大会の開催に当たっては、土浦市立博物館、館長の茂木先生、副館長の塩谷先生をはじめとする職員の皆さまには、格別なご高配をいただき、多方面にわたりご協力いただきました。ここに深く感謝いたします。

日本情報考古学会第 37 回大会プログラム（記録）

日本情報考古学会第 37 回大会は、以下のような日程・内容でした。記録としてプログラムを掲載します。

期日：2016 年 10 月 8 日（土）・9 日（日）

会場：土浦市立博物館（茨城県土浦市中央 1 丁目 15-18） 視聴覚ホール（B1）

第 1 日 10 月 8 日（土）

開会式 13:00-13:10

一般講演（座長 西村 淳）

研究発表 1 13:10-13:30

考古学から見たホモ・サピエンスの日本列島への渡来と拡散
植木 武（共立女子学園名誉教授）

研究発表 2 13:30-13:50

パキスタンにおける文化遺産の再記録化プロジェクト (2)：イスラマバード博物館収蔵資料の 3D 計測とデジタル・アーカイブ化に向けた取り組み

野口 淳（NPO 南アジア文化遺産センター・東大総研博）、
横山 真、千葉 史（(株) ラング）、ムハンマド・ザヒル（ハザラ大学）、アブドゥル・アゼーム（パキスタン考古博物館局）、近藤英夫（東海大学）

研究発表 3 13:50-14:10

弥生文化の周辺地域におけるエスニック現象の新しい理解に向けて

平川ひろみ（鹿児島国際大学大学院）、中園 聡（同大学）

研究発表 4 14:10-14:30

等高線図からの没入型 3D 地形モデルの作成
杉本厚典（大阪歴史博物館）、江口泰弘

研究発表 5 14:30-14:50

茨城県内の窯跡群および遺跡出土須恵器の蛍光 X 線分析
三辻利一（鹿児島国際大学）

一般講演（座長 廣田吉三郎）

研究発表 6 15:00-15:20

茨城県内の窯跡群および古墳出土埴輪の蛍光 X 線分析
三辻利一、犬木 努（大阪大谷大学）

研究発表 7 15:20-15:40

岡山後楽園所在の「大立石」について（予察）
三瓶裕司（公益財団法人かながわ考古学財団）

研究発表 8 15:40-16:00

東之宮古墳における地中レーダ探査
泉 吉紀、酒井英男、鈴木 碧（富山大学）、渡邊 樹（犬山市教育委員会）

研究発表 9 16:00-16:20

東大寺領荘園に関連した富山県砺波市久泉遺跡と大溝の研究
酒井英男（富山大学）、岸田 徹（同志社大学）、泉 吉紀、川崎一雄（富山大学）、野原大輔（砺波市教育委員会）

特別講演 16:30-17:30

日本の箱式石棺
茂木雅博先生（茨城大学名誉教授・土浦市立博物館館長）

懇親会 18:00-

第 2 日 10 月 9 日（日）

一般講演（座長 植田 真）

研究発表 10 10:00-10:20

小豆島における文化遺産活用の検討—世界考古学会議 Pre-

Congress Tour を通じて—

川宿田好見（同志社大学文化遺産情報科学研究センター）

研究発表 11 10:20-10:40

特別天然記念物—古代の魚津埋没林のレーダ探査研究
泉 吉紀、酒井英男（富山大学）

研究発表 12 10:40-11:00

磁化研究による黒曜石製遺物の熱履歴の研究

菅頭明日香（青山学院大学）、酒井英男（富山大学大学院）

研究発表 13 11:00-11:20

花崗岩類のベルト帯

三辻利一（鹿児島国際大学）

研究発表 14 11:20-11:40

関東地域の縄文土器の蛍光 X 線分析

三辻利一（鹿児島国際大学）

総会、学会賞授賞式 11:40-12:10

一般講演（座長 平川ひろみ）

研究発表 15 13:00-13:20

遺物表面の展開に関する評価方法

王 澤鵬、松山克胤、今野晃市（岩手大学）

研究発表 16 13:20-13:40

楕円を用いた完形土器の円形度解析手法の検討

韓 菲（岩手大学）、木下 勉（福井工業大学）、松山克胤、今野晃市（岩手大学）

研究発表 17 13:40-14:00

岡山県南部地域における終末期古墳の立地と要素—総社市鳶尾塚古墳を中心に—

四田寛人（岡山大学文学部）

研究発表 18 14:00-14:20

土器製作者の個人同定法とその考古学研究における意義

中園 聡（鹿児島国際大学）

研究発表 19 14:20-14:40

考古資料の三次元記録の実践例—様々な手法・装置間の比較—

太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）、中園 聡（同大学）

研究発表 20 14:40-15:00

中国東北地区における新石器時代土器の調査と SfM による記録

楊 帆、太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）

閉会式 15:00-15:10 会長 植木 武

2016 年度日本情報考古学会総会報告

2016 年 10 月 9 日に土浦市立博物館で開かれた 2016 年度総会の結果をお知らせいたします。

太郎良真妃会員を議長とし以下の審議・報告がなされた。

議題

1. 2015 年度会計報告について

適切に処理されていた旨の会計監査報告があり、承認された。

2. 2016 年度予算案について

事務局より説明があり、承認された。引き続き支出を抑える工夫を継続する旨、併せて報告された。

3. 名誉会員について

植木会長より説明があり、村上征勝氏を名誉会員

日本情報考古学会平成 27 年度決算報告書

収入		支出	
繰越金	891,809	情報考古学第 19 巻 1・2 号印刷費	420,000
会費	832,400	情報考古学第 21 巻 1・2 号印刷費	80,676
大会参加費	181,000	第 32 回大会講演論文集印刷費	97,200
懇親会費	192,000	第 35 回大会講演論文集印刷費	59,200
ブース展示 出展料	60,000	第 36 回大会講演論文集印刷費	50,600
冊子売上	77,000	会報 No.36 印刷費	8,814
雑収入	10,788	会報 No.37 印刷費	9,390
利息	54	パンフレット印刷費	0
		学会賞トロフィー代	6,364
		会議費	15,260
		懇親会費	180,000
		講師謝金	40,000
		事務局維持費 (含アルバイト代、消耗品費)	192,089
		振込等手数料	2,422
		送料	172,562
		前年度立替金返済	137,565
		雑損	2,200
合計	2,245,051	合計	1,474,342
		次年度繰越金	770,709

日本情報考古学会平成 28 年度予算

収入		支出	
繰越金	770,709	情報考古学第 22 巻 1 号印刷費	100,000
会費	680,000	情報考古学第 22 巻 2 号印刷費	100,000
大会参加費	190,000	第 37 回大会講演論文集印刷費	60,000
懇親会費	220,000	第 38 回大会講演論文集印刷費	60,000
ブース展示 出展料	20,000	会報 No.38 印刷費	9,000
冊子売上	50,000	会報 No.39 印刷費	18,000
		パンフレット印刷費	30,000
		会員名簿印刷費	10,000
		学会賞トロフィー代	11,500
		会議費	20,000
		懇親会費	200,000
		講師謝金	60,000
		事務局維持費 (含アルバイト代、消耗品費)	190,000
		振込等手数料	4,000
		送料	150,000
合計	1,930,709	合計	1,022,500
		次年度繰越金	908,209

とすることが承認された。

報告

1. 2015 年度活動報告

事務局より大会等の主な活動が報告された。

2. 2016 年～2018 年度役員(理事・監事) 選挙結果

事務局より選挙結果について報告された。また、理事の中から投票で植木理事が会長に再選されたことも併せて報告された。

3. 新役員の体制について

事務局より新委員会についての説明があった。なお、学会事務局は今期も継続する旨、報告された。

4. 会員名簿について

事務局より会員名簿の作製・配布とその趣旨が説明された。

2016 年度第 1 回理事会議事録

日 時：2016 年 10 月 8 日(土) 10:00～12:00

場 所：土浦市立博物館

出席者：植木武(議長)、及川昭文、西村淳、川宿田好見、廣田吉三郎、酒井英男、中園聡、野口淳、平川ひろみ、寶珍輝尚、菅頭明日香、三瓶裕司

1. 報告

1. 会員動向について

昨年度、正会員が 5 名減。一方、若手の新規入会がみられることが報告された。

2. 学会誌編集委員会報告

『情報考古学』第 22 巻の編集状況が報告され、今年度刊行することが確認された。

3. 会員名簿について

事務局より予定通り今年度中に作成・配布する見通しであることが報告された。

2. 審議事項

1. 2015 年度会計報告案について

監査済みの会計報告案について承認された。

2. 2016 年度予算案について

事務局より提案と説明があり承認された。

3. 学会賞の選考について

2016 年度の授賞対象の決定が確認された。学会賞は該当なし、論文賞 1 件、堅田賞(優秀賞) 1 件。

4. 日本情報考古学会 2016 年度総会について

総会の議題・報告の内容が確認された。

5. 学会誌のあり方について

電子化委員会より学会誌の電子化に関する検討結果を踏まえた提案・報告があり、公開方法、運用等について具体的な議論を行った。

6. 学会の名称表記について

より適切な英文名称とするよう、変更について議論がなされた。今後、さらに検討を進める。

その他 諸企画について検討した。

理事会後、新委員会ごとにミーティングを行い、方針等を話し合った。

名誉会員について

今年度の総会において、本学会創設時から尽力され会長も務められた村上征勝氏が名誉会員として承認されました。

2016 年度日本情報考古学会賞

2016 年度日本情報考古学会賞が決定しました。第 37 回大会において、2016 年 10 月 9 日、授賞式が開かれ、植木会長より表彰状と記念の盾が送られました。

受賞者は次のとおりです。今後のますますのご発展を祈念いたします。

学会賞 該当者無し

論文賞 村木祐太、アルタンツェツェグ・エンフバヤル、千葉 史、松山克胤、今野晃市「多数の遺物を一括測定可能なレーザー型自動計測システム」(『情報考古学』Vol.20 No.1・2, 2014)

堅田賞 (優秀賞) 中園 聡、太郎良真妃、平川ひろみ、下小牧 潤、楊 帆「超・遠隔地交渉における同范関係の検討—中国と日本出土の中世中国瓦—」(『日本情報考古学会講演論文集』Vol.15, 2015 (通巻 35 号) 掲載の業績)



論文賞。右は村木氏。左は植木会長。



堅田賞 (優秀賞)。左より中園氏、太郎良氏、平川氏、楊氏。

会員名簿の配布

会員相互の研究交流と親睦のために、会員名簿を作成しましたので、会員のみなさまへ送付いたします。つきましては、取り扱いに十分に気を付けたうえで、ご活用ください。なお、会員情報に変更が生じた場合、は速やかに事務局までお知らせください。

第 38 回大会の開催について

日本情報考古学会第 38 回大会を下記のとおり開催いたします。

多くの方のご参加をお待ちしております。また、周知にご協力ください。

開催日 3 月 25 日 (土)・26 日 (日) の 2 日間
場 所 鹿児島国際大学 7 号館 1 階 710
(鹿児島県鹿児島市坂之上 8 丁目 34-1)

特別講演「古人骨から南九州・南西諸島集団の
成り立ちを探る」

講 師 竹中正巳 先生
(鹿児島女子短期大学教授)

一般講演・ポスターセッション

その他の企画

考古学実験室機器見学 (三次元スキャナ、蛍光 X 線
分析装置等。解説付)

会期中は下記ハンズオン展示もあります。
北タイの伝統的土器作りと製作具

考古資料の三次元記録とレプリカー鹿児島県三島村—

考古資料の三次元記録とレプリカー香川県小豆島—

◎学会ホームページに情報を掲載していますので、ご覧ください。また、追加情報等は同ホームページで逐次お知らせいたします。

本学会は下記の賛助会員よりご支援いただいています。

株式会社 四門 株式会社 CUBIC
国際文化財株式会社 ほか

日本情報考古学会会報 No.39

2017 年 3 月 1 日

発行 日本情報考古学会事務局

〒 891-0197 鹿児島市坂之上 8 丁目 34-1
鹿児島国際大学中園聡研究室内

E-mail: archaeoinfoiuk@gmail.com

<http://www.archaeo-info.org/>